

**危機に瀕する学術情報の現状とその将来 Part 2**  
 日時：平成31年4月19日(金) 13:00~17:30  
 会場：日本学術会議講堂(東京都港区六本木7丁目22番地34号)



**趣旨説明**  
 日本学術会議第二部部長  
**大野 英男**  
 (東北大学総長)

東北大学 青葉山commons

**1. Part 1で報告されたこと**

**危機に瀕する学術情報の現状とその将来**  
 日時：平成29年5月18日(木) 13:00~18:00

日本学術会議主催  
学術フォーラム

総合司会：大野 英男 (日本学術会議第三部委員、東北大学電気通信研究所長・教授)


13:00~13:05	挨拶	大野 英男 (日本学術会議第三部委員、東北大学電気通信研究所長・教授)
13:05~13:20	趣旨説明	大野 英男 (日本学術会議第三部委員、東北大学電気通信研究所長・教授)
13:20~13:45	講演	「危機に瀕する学術誌～商業化・電子化・オープン(は)に伴う課題～」 久留島 典子 (日本学術会議第一部委員、東京大学史料編纂所教授)
13:45~14:10	講演	「学術誌の定型的・持続的アクセスに向けて」 安達 淳 (日本学術会議連携委員、情報・システム研究機構国立情報学研究所教授)
14:10~14:35	講演	「学術情報の現状～研究者を取り巻く状況～」 松尾 山賢利 (日本学術会議第三部委員、法政大学理工学部教授)
14:35~15:00	講演	「学術情報の現状～大学経営の立場から～」 橋本 俊哉 (東北大学理事)
15:00~15:25	講演	「国立大学と学術誌問題」 大野 隆 (日本学術会議会長・第三部委員、国立大学協会副会長、豊橋技術科学大学学長)
15:25~15:35	休憩	
15:35~16:00	講演	「デジタル時代の学術出版とオープン、ネットワーク化、データ駆動」 Anders Karlsson (エルゼビア デイジー/ハバア/カデミック/リレーションズ/バイプレジデント)
16:00~16:25	講演	「学術情報基盤の整備促進に向けた文部科学省の取組について」 原 克彦 (文部科学省研究振興局参事官 (情報基盤))
16:25~16:50	講演	「これからの学術情報～オープンサイエンスを巡って～」 上月 天和子 (日本学術会議第三部委員、国立研究開発法人情報通信研究機構理事)
16:50~17:05	休憩	
17:05~17:50	総合討論	「学術情報のエコシステム～そのあるべき姿とは～」 総合討論司会：小松 久男 (日本学術会議第一部委員、東京外国語大学特別教授) パネリスト：講演者全員
17:50~18:00	まとめ	大政 謙次 (日本学術会議第二部委員、東京大学名誉教授、愛媛大学大学院農学研究科客員教授、高知工科大学客員教授)

**1. Part 1で報告されたこと**

**危機に瀕する学術情報の現状とその将来**  
 日時：平成29年5月18日(木) 13:00~18:00

日本学術会議主催  
学術フォーラム

**学術情報のあるべき姿についての議論**



研究者

行政機関

コンソーシアム

出版社

大学図書館

大学経営陣

ステークホルダーからの現状確認と課題の明確化

- オープンアクセス (OA) 推進
- オープンサイエンス

**2. その後の動向**

**(1) OAへの移行が加速**

- 欧州で **Read & Publish** 契約の拡大 (購読料+APC (OA論文掲載料)のセット契約)
  - 購読料を減らしていき、OA論文を増やす方向へ
  - Read & Publish 契約を求める国・大学がエルゼビアと交渉決裂、契約中止：ドイツ(Project DEAL, Max Planck Inst.), アメリカ(UC), スウェーデン, ハンガリー, ノルウェー
- 完全・即時OAを目指す10原則 **Plan S** 公表  
 欧州ほか15の研究助成機関が参加 (2018.9~)
  - 公的助成を受けた研究成果は高品質なOAジャーナル (またはOAプラットフォーム) で公開しなければならない
- 日本でも 大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE) がOA出版に主眼を置くモデルへの移行に向けて検討

## 2. その後の動向

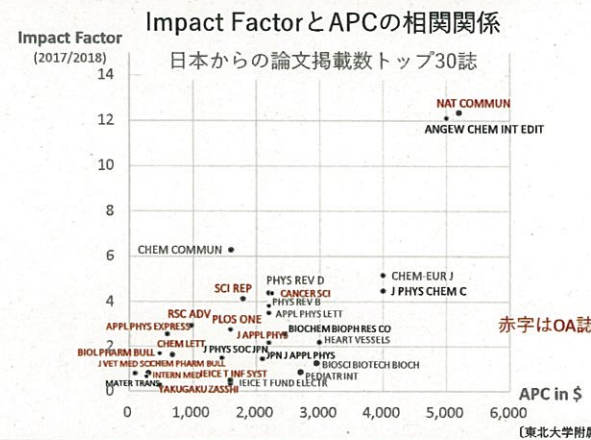
### (2) オープンサイエンスの一層の推進

- **統合イノベーション戦略** [2018. 6. 15 閣議決定]  
→ 「オープンサイエンスのためのデータ基盤の整備」
- 内閣府 国際的動向を踏まえたオープンサイエンスの推進に関する検討会 (2017.12~)
- 文部科学省 科学技術・学術審議会 学術分科会 第9期学術情報委員会 (2017.4~)
- 公的研究資金申請におけるデータ管理計画(DMP)提出の義務化  
→ JST [2017.4], AMED [2018.3], NEDO [2018.3]
- 研究データ基盤の整備

5

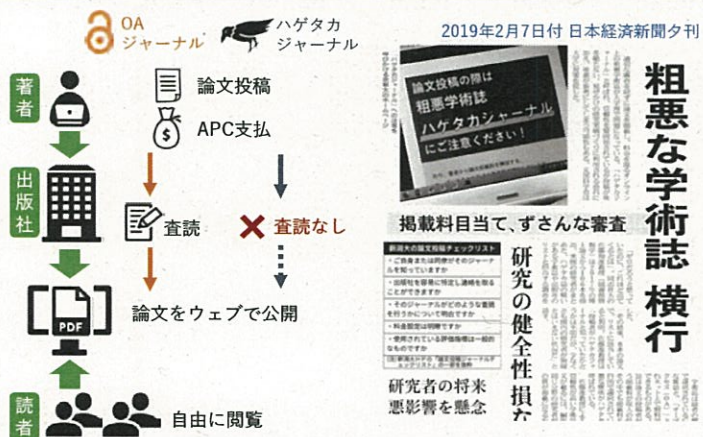
## 2. その後の動向

### (3) APC (OA論文掲載料) の負担増



## 2. その後の動向

### (4) ハゲタカジャーナルの増幅



7

## 3. 本日の議論

- 司会 米田 雅子(日本学術会議第三部幹事、慶應義塾大学特任教授)
- 13:00 開会挨拶 三成 実保(日本学術会議副会長、奈良女子大学副学長・教授)
- 13:05 趣旨説明 大野 英男(日本学術会議第三部部長、東北大学総長)
- 13:15 学術情報としての政府統計の利活用の現状と課題  
北村 行伸(日本学術会議第一部会員、一橋大学経済研究所教授)
- 13:40 学術誌をめぐる国内外の諸問題と対応策  
山口 周(日本学術会議第三部会員、大学改革支援・学位授与機構研究開発部教授)
- 14:05 学術の信頼性を損なう粗悪雑誌問題  
野上 謙(東京大学理学系研究科シニア・リサーチ・アドミニストレーター)  
畠田 洋幸(日本学術会議第二部幹事、東京大学大学院理学系研究科・理学部研究科長・理学部部長)
- 14:30 エビデンスデータの公開をめぐる課題  
白鷺 克彦(東京大学定量生命科学研究所所長)
- 休憩(15分)
- 15:10 オープンサイエンスに関する政策と方向  
文部科学省 研究振興局参事官(情報担当)
- 15:35 オープンサイエンスと情報基盤  
喜連川 俊(日本学術会議連携会員、情報・システム研究機構国立情報学研究所所長、東京大学生産技術研究所教授)
- 16:00 産業界から見た、データ利活用における課題と期待(仮)  
佐々木 直哉(日本学術会議連携会員、日立製作所研究開発グループ技師長、一般社団法人機械学会会長)
- 16:25 総合討論  
コーディネータ 佐藤 岩夫(日本学術会議第一部部長、東京大学社会科学研究所長・教授)
- 17:25 閉会挨拶 畠田 洋幸(前掲)
- 17:30 閉会

8